



- | | | |
|---|-----|-------------------|
| 1 | 羅針盤 | 「仕事の5S」を実現する |
| 3 | | これぞ躍進流!! ドラッカー活用術 |
| 5 | | 床下点検から清掃へ |
| 5 | | 安心・安全な浴室を実現 |
| 6 | | 家の総点検はドローンが主流 |
| 8 | | 助け合いを考える |

「仕事の5S」を実現する



仕事現場と心をきれいにする

良く知られている標語に「環境整備の5S」があります。これは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけの頭文字のSをとったもので、仕事の効率をアップさせるため、現場環境を最善の状況にするための5つの要素です。

整理は一般的には、「不要なものを捨てる」ことですが、この発想をもう一步進めて、「必要な物以外がみな捨てる」ようにしましょう。なぜなら、必要なのか不要なのか不明ないわゆるグレーゾーンに存在するものへの対応が正反対になるからです。そして、必要な物以外をみな捨てれば真の断捨離が達成され、環境整備のグレードは大きくアップします。

整頓は、あらゆる物を所定の場所に収めることで、必要な時に必要な物がすぐ取り出せる環境整備です。これはクラウドシステムを用いた名刺管理などの情報共有も同様です。

また、清掃して周囲を清め清潔な身だしなみを整えることは、すべての仕事の基本と認識してください。さらにしつけは、躍進における「規定業務」の順守をはじめルールを守ることの徹底です。

「環境整備の5S」は、生産性アップは言うに及ばず、仕事現場だけでなく働く人の心もきれいにするものです。この実現のために社員が一丸になれば、共感と団結が生まれるのです。まさに仕事は「環境整備の5S」からスタートしましょう。

総合力で仕事を成し得る

そして躍進では、「環境整備の5S」に関連して「仕事の5S」を定め、日々これを実現するように努めています。これは「環境整備の5S」同様に、誠実・スピード・正確・成果・成長の頭文字のSをとったものです。

誠実は、あらゆることに感謝の心をもって真摯に仕事に臨む姿勢です。スピードと正確は、仕事のクオリティ確保に他なりません。成果は、誠実・スピード・正確がもたらす報酬です。そして、誠実・スピード・正確・成果を繰り返しながら、同時にPDCAサイクルを適切に回していくことで成長することができるのです。

つまり「仕事の5S」には、人間性（誠実）、能力（スピード・正確）、結果（成果）、発展（成長）という仕事に必要不可欠なすべての要素が含まれているのです。まさに仕事とは総合力をもって成し得るもので、それは人間の持つ総合力と一致するのです。

最高善の仕事を成す

仕事の総合力が人間に求められる総合力と一致する理由は、人間というものは、決して一面的に評価されるものではなく、多面的に認められてこそ値打ちが決まるからです。

特に、能力さえ磨けば認められると勘違いしてはいけません。例えばお客さまは、いくら実務に長けた担当者でも、不愉快な人間には一切注文は出さないものです。当然、そうした人間が社内であればチームワークもスムーズに流れることなく、結果として成果に結びつかないのです。

この世のあらゆる仕事は、連携によって成り立っているものです。自分を支えてくれる他の人の存在価値を認め感謝しなければ、すべての仕事は不成立となります。例えば、農業関係者が優れた食材を生産してくれるから、料理人という仕事は成り立っています。医師も製薬会社やメーカーが提供してくれる薬品や医療機器がなければ診断も治療もできません。こうした人へ心から感謝することが、仕事の総合力の第一歩なのです。

そして、すべてに感謝し自分の能力を高め成果に結びつけられたら、さらに成長しようとすることで、仕事は進化し続けます。その進化は個人の進化に留まらず、チームの進化や会社の進化、業界の進化となり、最終的に人々のより良い幸福実現につながるのです。

まさに「仕事の5S」を実現することは、先月もご案内した「躍進5原則、五方良し、360度全方位の幸福」の実現であり、総合力による最高善の仕事を成すことこそ、我々の目的である「自他共幸福実現」であると改めて強く認識したいと思います。

これぞ躍進流!! ドラッカー活用術

〈『イノベーションと企業家精神編』その3〉



今月も、経営者としての20年以上のキャリアを生かし、経営学者 P.F.ドラッカー氏の言葉を捉え、それをどのように躍進の経営に役立てているかをご案内してまいります。

そして今回も、『イノベーションと企業家精神(エッセンシャル版)』(上田惇生・訳)に記載されている内容をお話いたします。私の考えが皆様の経営に関するお考えの一助になれば望外の喜びです。

今月の言葉 その1 **イノベーションの機会**

「コップに『半分入っている』と『半分空である』は、量的には同じである。だが、意味はまったく違う。とるべき行動も違う。世の中の認識が『半分入っている』から『半分空である』に変わるとき、イノベーションの機会が生まれる」

●笠井輝夫の解釈 **半分为柔軟に捉える**

例えば登山をして、水筒の中に入っている水に対して、「半分入っている」と「半分空である」では、毎回飲む量とタイミングも違ってきます。もし残りの水の量が、自分が思っている認識と違えば、楽しい登山はできなくなってしまいます。

さらに、コップに入っている水を命に例えると、さらによくわかります。「人生100年時代」を踏まえて50歳を迎えた時、「自分の命はもう半分しかない」と捉えるか、「まだ半分も残っている」と捉えるかで、残りの人生設計も変わってくるからです。

こうした点を踏まえて、躍進流で「半分」を捉えるのならば、「半分残っている」と判断した時、そこに別な何かを加えて新たなものを生み出す「足し算によるイノベーション」の実行を推奨しています。例えば、コップの中身が水ではなく牛乳であれば、半分になった段階でコーヒーを足してコーヒー牛乳を作るのです。さらに、袋に半分残っているえびせんならば、そこにポップコーンを入れてシェイクして新たなお菓子を作り出します。

逆に「半分しかない」となれば思い切って残りを捨て、そのコップにもっと有効な新しいものを注ぐ発想も重要です。このように柔軟な発想をもってイノベーションに臨むのが躍進流です。

今月の言葉 その2 認識の変化を利用する

「社会学者や経済学者が認識の変化を説明できるか否かは関係ない。認識の変化はすでに事実である。多くの場合、定量化できない。定量化できたとしても、その頃にはイノベーションの機会とするには間に合わない。だがそれは、理解できないものでも、知覚できないものでもない。きわめて具体的である。明らかにし、確かめることができる。そして何よりもイノベーションの機会として利用することができる」

●笠井輝夫の解釈 認識したら意識する

躍進では、認識したら意識することを励行しています。なぜなら、意識の差は何倍にもなって成果に反映されるからです。そして、仕事などを意識し続けると夢にまでも出てくるようになります。それが常在戦場の精神となり、何かのチャンスやきっかけに触れた時に爆発的な閃きを引き起こすのです。まさに、認識したら意識することでイノベーションの機会を生かせることを忘れないでください。

今月の言葉 その3 7つの機会

「イノベーションを行うには、機会を分析することから始めなければならない。イノベーションのための7つの機会（予期せぬことの生起 ギャップの存在 ニーズの存在 産業構造の変化 人口構造の変化 認識〈ものの見方、感じ方、考え方〉の変化 新しい知識の出現）を徹底的に分析しなければならない」

●笠井輝夫の解釈 需要をストックする

躍進は住宅業界の一翼を担っていますので、人口構造の変化とともに、地域の世帯数の変化についても敏感に捉えています。10年後、20年後を考えれば、まだまだ手を尽くすことはあります。つまり、需要をストックしながらイノベーションに臨むようにするのです。

今月の言葉 その4 集中と強みと経済・社会

「イノベーションには成功させる3つの条件がある。①集中しなければならない ②強みを基盤としなければならない ③経済や社会を変えなければならない」

●笠井輝夫の解釈 集中を重視

この3つの条件の中で、躍進では特に集中することに重きを置いています。仕事というものはイノベーションの土台となり、まさに真剣勝負です。そのためには、きちんとした時間割をとり入れ、最大限に集中しなければなりません。さらに言えば、強みや経済・社会の情勢をベースに置きながらとことん集中するように心掛けましょう。

床下点検から清掃へ

躍進では住宅の床下点検業務を実施しています。5年点検では、床下のシロアリと腐朽菌、排水管系の水漏れ等を確認しています。そして、お風呂場床下の排水管の汚れも発見します。さらにシロアリ以外の害虫に遭遇することもしばしばです。

お施主さまのお家の床下点検と同時に、清掃されることをお勧めします。まずは床下の無料点検を実施してください。ご依頼をお待ちしております。

安心・安全な浴室を実現 浴室換気乾燥暖房機

秋も深まり、躍進では秋冬の季節商品としてすっかりおなじみになりました、ヒートショック対策用の浴室換気乾燥暖房機として、「壁面タイプ／浴室用／防水仕様」、「同／脱衣室・トイレ・小部屋用」、「同／換気扇内蔵タイプ」、「同／換気扇連動タイプ」、「天井取付タイプ」(次ページ写真参照)をご用意しております。

冬場の浴室の脱衣所やトイレ、廊下などで寒さにさらされると、血管の過度の収縮により血圧が急変動し、脈拍が早くなり、高齢者の場合、心疾患や脳障害などの事故につながることもあります。最悪の場合、急性心不全、心筋梗塞、くも膜下出血などによる突発的な死を引き起こします。

<p>浴室用モデル</p>  <p>涼風暖房機:防水仕様</p> <p>SDG-1200GB ●電源コード(棒端子接続)タイプ</p>	<p>脱衣室・トイレ・小部屋用モデル</p>  <p>涼風暖房機:非防水仕様</p> <p>SDG-1200GS ●電源プラグ(コンセント差込)タイプ</p>
<p>生活防水 壁面取付タイプ 特定保守製品</p>  <p>ワイヤレスリモコン(生活防水)</p> <p>BF-861RX BF-861RXR NEW</p>	<p>天井取付タイプ</p> <p>特定保守製品 NEW</p> <p>2室同時換気 浴室にプラス1室を同時換気。乾燥中でも他室の同時換気が可能。</p>

65歳以上の方は、たとえ健康に自信があったとしても、入浴時には注意が必要です。脱衣所と浴室の温度差が10℃以上にならないように注意しなくてはなりません。さらに、高血圧・糖尿病・動脈硬化のある方、肥満気味の方、睡眠時無呼吸症候群や不整脈がある方、お酒を飲んでから入浴する習慣のある方などはヒートショックに要注意です。

入浴前にその都度浴室をシャワーで暖めたり、脱衣所にファンヒーターを移動したりするのは、負担が大きいままです。浴室換気乾燥暖房機によって、安心・安全な浴室を実現してください。ご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽にご連絡ください。

家の総点検はドローンが主流



すっかりおなじみになりました「ドローンを用いた空撮による屋根、外壁、防水箇所の点検」は、大好評をいただいております。

ドローン点検のメリットは様々にあります。

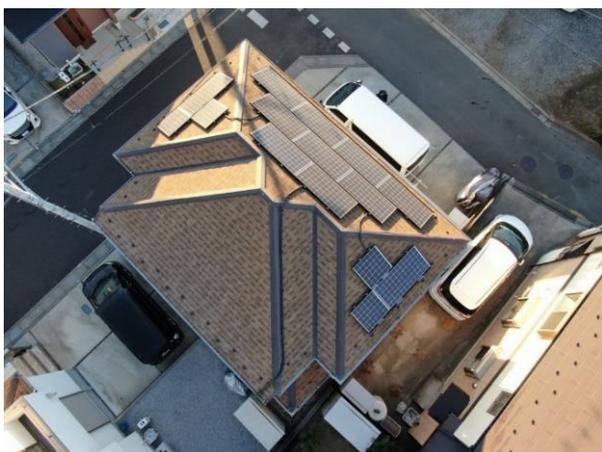
まず、**その場で一緒に屋根・外壁の撮影画面を確認できます**。お施主さまも点検画面を確認できるため、安心と納得を提供できるのです。

また、画面を見ながら細かいところまで確認ができます。搭載したカメラのズーム機能を活用することによって、詳細な確認が可能となります。

さらに、足場を組むこともなく、高所での作業が必要ないので短時間で点検できます。屋根に上らないので、屋根材を傷めることもありません。

衝突防止機能も万全

ドローン操作を安全・確実なものにするために、各種センサーを活用し、3つの万全な衝突防止対策を実施しています。



1つ目はデュアルビジョンセンサーですが、これは、**機体センサーで障害物までの位置を検知し、衝突防止を実現します**。2つ目の気圧・風速センサーによって、**気圧・風速を感知することで、安全な状態での飛行を実現します**。3つ目の赤外線検知システムの活用によって、**ビジョンセンサーだけではなく、赤外線でも障害物を検知します**。

保険をはじめ適切なトラブル対応を実現

そして、トラブル発生に備えて、保険の完備をはじめサポート体制も確立しています。

対人・対物の保険として、**万が一の事故に備え、対人・対物とも1億円まで補償対応いたします**。また、人権侵害の保険として、**点検によりプライバシーを侵害した場合、損害賠償金を補償いたします**。さらに、「ドローン対応チーム」によって、**事故発生時もドローンのプロフェッショナルチームによる対応を実施いたします**。

ドローン活用で点検は進化

ドローンの活用によって、建物の定期メンテナンスも容易になり、点検も当日で完了します。また、コストの削減や時間の短縮だけでなく、安全性や点検のクオリティにおいても、高所作業が不要となったので、人身事故ゼロを実現できるようになりました。

まさに、ドローン活用で点検は進化しました。いまや、家の総点検にはドローンが主流と言っても過言ではないでしょう。お申込み、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしています。

助け合いを考える 住宅コラム

以前、あるテレビ番組で著名人を対象に、「一戸建てとマンション 住むならどっち」という趣旨のアンケートを実施したところ、1人を除いて残りすべての人が一戸建て派でした。一戸建てを支持する理由はたくさんありましたが、そのなかで特徴的だったのが、マンションに対する不満の裏返し反映されていたことです。

例えば、「管理費や修繕積立金を支払いたくない」「玄関ドアの外側やバルコニーまで共用部分であることが理解できない」「足音などの騒音で被害者や加害者になりたくない」「停電などでエレベーターが動かなくなれば上層階への行き来が不便」「不仲な住人とエレベーターのなかで遭遇しなくない」など枚挙に暇がありませんでした。

その一方で、たった1人であったマンション派の支持理由は、住人同士で相互扶助が実現できることを挙げていました。これに関連して、SUUMO リサーチセンターは「分譲マンションの共助力」に関する調査結果を発表しました(対象は2004年から2020年の間に首都圏の新築分譲マンションに入居した購入者)。しかしその結果は、「今のマンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」と思う人は32.3%に留まり、初回調査を実施した2016年に比較すると7.8ポイントの減少が見られ、前回の調査である2020年と比較しても1.8ポイント減少しており、現実には減少傾向にありました。

しかしこれは、居住年数によって違いがあるようです。長期入居者ほど共助力が高くなるようで、入居11年目以上の世帯では37.8%となっています。また、管理会社の視点によると、「居住者の交流を積極的に支援している」と思う人の中においては、「マンションの居住者とはいざという時に助けあえる」と回答した人の割合が49.5%に上っています。

また、都市部と地方とでは、ご近所付き合いに対する意識が違うため、一概には言えないと思われませんが、昔の長屋にあった連帯意識と同様の助け合い精神が、マンションの大きな魅力と感じる事実には注目すべきです。これを踏まえて、デベロッパーや不動産業者などは、マンションを「縦の長屋」と捉えて売り出すことを推進してください。

<p>株式会社 躍進</p> <p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	<p>事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、 ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、 ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除 及び予防、調湿剤、床下換気 等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、 外壁 等診断</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------